

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		総合行政ネットワーク事業				②事業番号		2113	
③事業類型		6. 内部管理事業		④開始年度		平成 14 年度	⑤終了予定年度		年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等		法令	条例	○ 規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称: 泉南市電子計算処理組織の管理運営に関する規則	
⑦実施手法		直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他			
⑧関連予算科目コード		款	2	項	1	目	10	細目	5
⑨担当部名		総務部		⑩担当課名		総務課		会計 一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位
① 総合行政ネットワークシステム(LGWAN)		① システムの件数		システム
② 市職員		② 職員数		人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位
地方公共団体の組織内ネットワークを相互に接続したネットワークを構築し、さらに国の各府省のネットワーク(霞が関WAN)とも接続することで、電子メールや公的個人認証、電子申告システムなどの高度な情報の流通を可能とする通信ネットワークを整備する。		① LGWANを利用できるパソコン台数		台
		②		
		③		
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
システムの安定稼働と正確な業務処理の実現および利用する職員の事務処理の効率化を図る。		① システムの年間トラブル件数		件
		②		
		③		
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け		
電子化の推進を図る。		政策(章)	6	みんなでまちづくりに取り組むまち
		施策大(節)	2	市民の満足度が高く、また透明性の高い行政経営をおこなうまちをめざします
		施策中	1	行政経営の高度化
		施策小	3	高度情報化の推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	システムの件数	システム	2	2	2	2	2	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②	職員数	人	427	417	419	417	417	
活動指標①	LGWANを利用できるパソコン台数	台	376	382	382	382	382	
活動指標②								—
活動指標③								
成果指標①	システムの年間トラブル件数	件	0	0	0	0	0	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	2,432	2,314	2,290	2,290	2,290	新府域ネットワークがR2.2月より運用され、前ネットワークより設備機器等が増加することにより、令和2年度以降は経費増となる。
	直接事業費	千円	1,060	1,262	2,152	2,153	2,153	
	総事業費	千円	3,492	3,576	4,442	4,443	4,443	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	3,492	3,576	4,442	4,443	4,443	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	自治体の庁内LANを相互に接続し、高度情報流通を可能にする通信ネットワークを整備することとした。(e-Japan重点計画)
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	電子申請などの住民サービスにLGWAN-ASPの利用が定着しつつある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目			評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)			ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	マイナンバーによる情報連携を行い、行政事務の効率化が図られる。				

[2]有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。			ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	LGWANは重要なインフラであり、行政サービスの向上に寄与している。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)			アイ. ある イ. ない	LGWAN接続を主とする事業としては完了している。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。			ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	信頼性の高い全国域のネットワークであり、他と比較することはできない。				

[3]効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)			アイ. ある イ. ない	LGWAN(大阪府域ネットワーク)を利用して将来的に経費削減ができる方策がないかを各市町村とともに検討していく。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	—	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞				
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(年まで) (年から) (年から)		
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)			
①改革、改善の具体案、実施年度など				
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策				